



∞「江風探究ユニット」∞の紹介

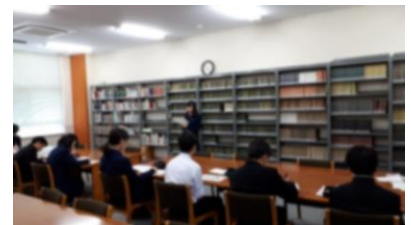
68期生は「江風探究ユニット」という活動を、主に総合的な学習の時間を使い行っています。この活動は、2年次「江風SSⅡ」「江風SSG」をはじめとする、課題研究等の活動において必要な探究力（資料を活用する力、課題発見力、仮説決定力、計画力、実証力、考察力、表現力）を育成するねらいがあります。「江風探究ユニット」は5つのユニットからなり、1年間を通じて、活動しています。ここで、現在までに行った4つのユニットの紹介をしていきます。

ユニット① テーマ：「〇〇の東西」

実施期間：4月から5月の中から3時間

育成する力：資料を活用する能力、表現力

国語総合（現代文）で山崎正和「水の東西」を行ったあと、東西の比較文化論を目的として、1時間目に図書館オリエンテーションと調べ学習を行い、2時間目に原稿を作成し、3時間目に90秒程度のスピーチを実施しました。生徒によって様々な比較対象がありました。（トイレの東西、髪型の東西など）その後、相互評価を行いました。インターネットは簡単に情報が得られる一方、不確かな情報も多く存在しています。文献から確かな情報を得ることが、科学の第一歩であるということも学びました。



ユニット② テーマ：「生活のなかで感じる新潟市の課題・解決策」

実施日：7月4日（1時間）および7月24日（1時間）の計2時間

育成する力：課題発見力、仮説設定力

7月4日はワークシートを用いて身近に感じる不便なことを挙げ、それに基づいて「新潟市の課題」を設定し、4人でグループを作りその解決策について考えました。

7月24日は実際に新潟市の担当者に来て頂き、用意した資料に基づいて新潟市の抱える課題について講演をして頂きました。全般的な説明の後、「新潟市からの挑戦状」という形で1学年生徒全員に問題提起がなされ、生徒は講演を聴いて新潟市の課題についてさらに考察を深めました。

ユニット③ テーマ：「新潟市からの挑戦状」

実施日：10月10日（1時間）、10月17日（2時間）、10月31日（2時間）の計5時間

育成する力：仮説設定力、計画力、実証力、考察力

ユニット②で提示された、5つのテーマ（健康寿命延伸は、雇用創出、農業・食文化、持続可能な公共交通、インバウンド）から1テーマを選び、4人グループでワークシートを用いてそのテーマにリサーチクエスチョンを設定し、解決方法について考えました。役割分担を決め計画的にテーマに関する文献を探したり、アンケート調査を行ったりしていました。そこから得られた結果から、新たな問いが生まれ各班とも深く考察を行っていました。その後、各班で1枚ポスターを作成しました。

ユニット④ テーマ：「ポスターセッション・スピーチコンテスト」

実施日 : 12月12日

育成する力：表現力

前半は、5つのテーマから選出された代表グループのスライドを用いた全体発表を行い、後半はユニット③で作成したポスターを体育館に掲示し、すべての班（計90班）がポスターセッションを行いました。どの班にも自分たちの考えがうまく伝わるよう、発表の仕方やポスター構成に工夫が見られました。質問に対し回答する中で、自分たちの研究に対し考えがより深まっているようでした。

この発表に際して、新潟大学、新潟市、新潟を拠点に活動する企業の方々等に来賓として来ていただきました。いただいた意見を以下にまとめます。（抜粋）



- ・仮説を設定する段階の根拠がないように思われました。提案までもっていくことは、さすが南高生の力だと思います。
- ・リサーチクエストが生まれた背景を知りたいと感じました。それぞれにベースとなった関心・経験・エピソードがあると思うので。そこが探究をすすめていく推進力になるのかと思いました。
- ・ポスターの記載だけを見ると書いていることの意図が分からない班があり、デザインの仕方、論理的な書き方を磨くことで、発表がもっと良くなると感じました。直接話を聞くと、意図が伝わっただけにもったいないと思います。
- ・インターネットのみの調査でなく、自分の目で見ると、耳で聴くなどの過程があると説得力が高まるなと感じました。

以上のように、一定の評価を得ながらも、改善すべき点も見つかりました。

ユニット①～④の活動を通して、自ら課題を設定し、それを解決するために、論理的に思考を積み上げることの大変さや面白さが分かったのではないのでしょうか。

2月に実施する、最後のユニット⑤で研究を論文形式にまとめ、「江風探究ユニット」は完結します。この活動が、来年以降の課題研究にどのように活かされていくのか、ご注目ください。